

## 文化的変容からみた ダフル族

愛知大学大学院中国研究科  
博士後期課程  
暁 敏

2006. 7. 16

1

## 報告の構成

- I. はじめに
- II. ダフル族の概要および歴史的沿革
- III. 文化的変容からみたダフル族
- IV. おわりに

2

## I. はじめに

- 表記
- 漢字：達斡爾、達呼爾、達古爾、達古日、達瑚爾、打虎児、打虎力等
- 日本語：ダフル、ダグル、ダゴール、ダウール等
- 英語：Daur
- 2000年センサスによると132,394人
- 自民族の言葉があるが、文字をもたない

3

ダフル族の姓

敖	アウラ		成徳
鄂	オウノン	アムール川の支流	
郭	ゴブル	シベリヤの河の名前	婉容、郭道甫
徳	ドードウル	アムール川の上流	額勒春
孟	モルドン		凌升
蘇	スドル		
沃	ウオル		
金	ジンギル	ゼヤ河	
安	アルドゥン		
吳	ウーリス		
何	オースル		
索	ソドル		
喬	ウオルン		
胡	ホルディ		
塗	トクドン		

4

## 問題の設定

- 現在、中国の少数民族の一つであるダフル族は、中国政府によって単一民族として識別されて以来、文化が大きく変容している。
- 本報告では、主にダフル族として識別された、経緯、背景等を検討し、ダフル族の現状をも視野に入れて、その文化的特徴について考察したい。

5

## I. ダフル族の概要および 歴史的沿革

- (1)人口
- (2)分布状況
- (3)言語
- (4)文化
- (5)清朝時代
- (6)中華民国時代
- (7)満州国時代

6

### (1) 人口

- 2000年センサスによると132,394人
- 人口の推移：単一民族と識別される前は、  
蒙古人
  - 1964年63,694人
  - 1982年94,126人
  - 1990年121,463人

7

### (2) 分布状況

- 主に内蒙古・黒龍江・新疆に分布
- 大きく分散し、小範囲で集中居住

8

呼和浩特	1517	哈爾濱市	210	北京市	214
包頭	423	齊齊哈爾市	16570	天津市	54
烏海	65	大慶市	137	上海市	16
莫力達瓦達斡爾族自治旗	22609	富裕県	4937	吉林省	118
鄂温克族自治旗	11716	龍江県	1536	遼寧省	182
鄂倫春自治旗	5915	秦来県	709	河北省	58
布特哈旗	3751	杜爾伯特蒙古族自治县	195	河南省	25
阿荣旗	1179	訥河県	273	山東省	23
喜桂图旗	2539	嫩江県	1094	山西省	20
新巴爾虎左旗	856	蒙輝県	1508	陝西省	20
新巴爾虎右旗	615	達克県	340	四川省	26
陳巴爾虎旗	1193	孫吳県	307	安徽省	18
額爾古納左旗	674	加格達奇特区	457	浙江省	11
額爾古納右旗	263	松林區	178	江蘇省	9
海拉尔市	2747	洮河県	117	湖北省	9
滿州里市	275	漯河市	391	江西省	7
鳳安盟	732	肇東県	330	雲南省	5
肇慶市	276	烏魯木齊市	295	広西	5
赤峰市	150	塔城県	3611	甘肃省	10
錫林郭勒盟	726	阿勒泰地区	13	青海省	11
烏魯察布盟	186	博爾塔拉蒙古自治州	35		
巴彥淩爾盟	114	伊犁哈薩克自治州	410		
伊克昭盟	57				
阿拉善盟	62				

出所:『達斡爾族簡史』編写組、『達斡爾族簡史』、内蒙古人民出版社、1986年、164～166頁

### (3) 言語

- 自民族の言葉ダフル語があるが、文字をもたない
- 言語は、アルタイ語系のモンゴル語族
- 方言:布特哈(ブトハ)、齊齊哈爾(チチハル)、新疆
- ダフル語の語彙:モンゴル語50%、滿州語30%、ダフル語独自の語彙20%

10

- 清朝時代:滿州語
- 民国時代:漢語
- \* 海拉尔地区のダフル族は、モンゴル語と漢語を兼用
- \* 新疆地区のダフル族は、カザフ語、ウイグル語を兼用

11

### (4) 文化

- 經濟生活:遊牧、農耕、狩獵、漁業
- 海拉尔・莫力達瓦・齊齊哈爾・新疆の相違
- 居住地域により異なる
- 遊牧、農耕、狩獵文化を有する
- 「今日の滿州族が既に失ってしまった滿文や滿州族文化を保持している」(畑中幸子 1991:218)

12

### (5) 清朝時代

- 17世紀の半ばまで、現在ロシア領内のゼヤ (Zeya)川から中国領内の黒龍江の北岸地域に分布
- 1643年に、帝政ロシア(武装探検隊)の中国東北部への侵攻により嫩江流域に移住
- 18世紀に、清朝政府はフルンバイル地方に布特哈八旗を設置し、索倫(ソロン)・ダフル・巴爾虎(バルグ)・鄂倫春(オロンチョン)等をその管轄に編入

13

### (6) 中華民国時代

- 1912年、ダフル人勝福を中心に、フルンバイル地域の独立を宣言し、外モンゴルのボグド・ハーン政権への合流を求めた
- 1915年、中華民国政府は、フルンバイル地域を「特別区域」と規定し、フルンバイル地域の自治権力を承認
- 郭道甫のモンゴルへの接近と内モンゴル人民革命党
- 1928年、郭道甫等によるフルンバイル青年党の暴動事件

14

### (7) 満州国時代

- 1931年、郭道甫、徳古来等による反軍閥運動
- 満州国建国後、フルンバイル地域に興安東省と興安北省を設置、ダフル人の凌升(リンシェン)が興安北省長、額勒春(オルチョン)が興安東省長に就任
- 「凌升通ソ・通蒙事件」

15

### Ⅲ. 文化的変容からみた ダフル族

- (1)ダフル族の誕生
- (2)「ダフル族」と識別された背景
- (3)「ダフル族」と識別された意義
- (4)文化的融合\_ダフル族の現状

16

### (1)ダフル族の誕生

- 1945年8月、フルンバイルのモンゴル人とダフル人の上層部の人々が、ウランバートルに代表団を派遣し、外モンゴルとの統合を求めた
- 1946年、フルンバイル臨時地方自治政府成立
- 1948年、フルンバイル地方自治政府が内蒙古自治政府の管轄下に入る

17

- 1952年、齊齊哈爾龍江省ダフル族自治区
- 1954年、新疆瓜爾本設爾(ゴルバンシェール)ダフル族自治区
- 1956年、中華人民共和国政府は、ダフル族を単一民族として識別
- 1958年、莫力達瓦達斡爾族自治旗が成立

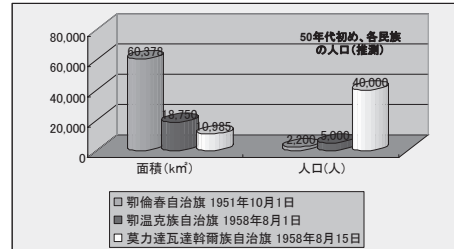
18

## (2)「ダフル族」と識別された背景

- 新しい中国の民族政策
- 「民族識別工作」
- 鄂倫春自治区の成立

19

## 鄂倫春自治区の成立(1951年10月1日)



20

- 1956年、全国人民代表大会常務委員会による少数民族社会歴史調査組を組織
- \* 額爾登泰、朱栄嘎、滿都爾図等によりダフル人の居住地域で調査を行った
- 同年、中国科学院による少数民族言語調査隊を組織
- \* 巴達栄嘎と拿木四来を中心にダフル人の居住地域で調査を行った

21

## 「族源」についての論争

- 「蒙古源流説」⇔「契丹源流説」
- 「契丹源流説」: 蒙古との相違点  
契丹との共通点
- 「蒙古源流説」: 文化、言語等の共通点
- 白鳥庫吉・鳥居龍蔵——契丹人の後裔
- シロコゴロフ: 「達呼爾族自身が契丹の子孫であると装ふてゐることが注意され得る」

22

## ダフル文字に創出

- 1956年、中国科学院による少数民族言語調査隊を組織、巴達栄嘎と拿木四来を中心にダフル人の居住地域で調査を行い、ダフル文字を作り出すことを決定
- ダフル文字: モンゴル文字、滿州文字、キリル文字、ローマ字で記録

23

## 「自願原則」

- ダフル人の中では、
- モンゴル民族であると主張する人  
独自の民族であると主張する人
- 齊齊哈爾のダフル人とフルンバイルのダフル人との間に昔から矛盾があった……『興安省概観』
- 自己意識的な原則: 莫力達瓦地区と海拉爾地区における意識的な相違

24



### (3) 「ダフル族」と識別された意義

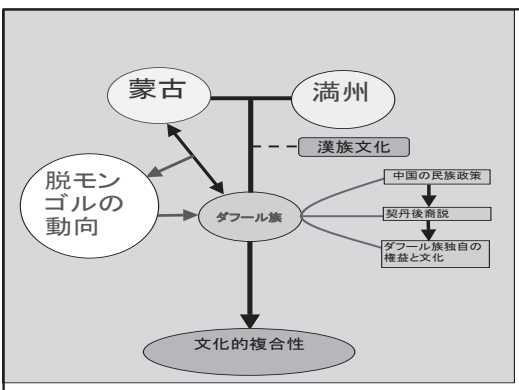
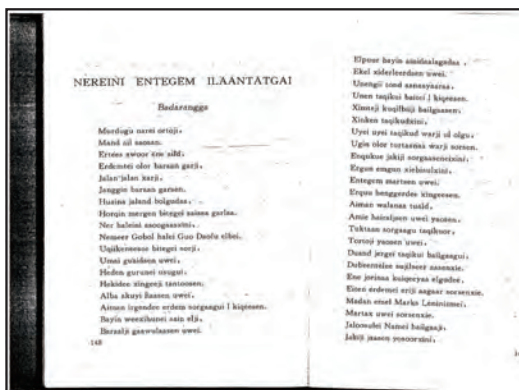
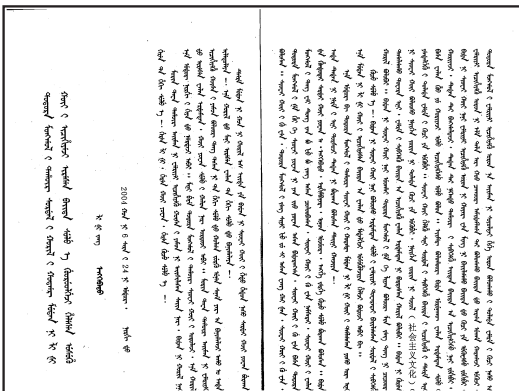
- 感情的なものの存在
- 一つの民族として識別された場合、様々な遇政策があること
- 自分たちの自治地域を有すること
- 近代から独立・自治の経験

26

### (4) 文化的融合\_ダフル族の現状

- 1980年、内蒙古ダフル歴史語言文学学会が成立
- 1987年、『ダフル語読本』が出版される
- 文字をもたないため、漢語教育が中心
- 言語と食文化以外は区別がつかない
- 言語を失いつつある
- 周辺諸民族との間、文化的な相互影響

27



#### IV. おわりに

- ・民族的起源、族源
- ・ダフル族の「民族識別」
- ・内蒙古自治区におけるダフル族の識別
- ・現在の文化的多様性・複合性